

『もっと老上、ずっと老上』



This is OIKAMI.

学校教育目標 **学びをひろげ 心ゆたかに 人とつながろう**

(学校だより、学年通信・ほけんだより、行事予定、下校時刻などは老上小学校HPでご覧になれます)

2 学期のはじまりは、1 学期の子どもの姿をもとに

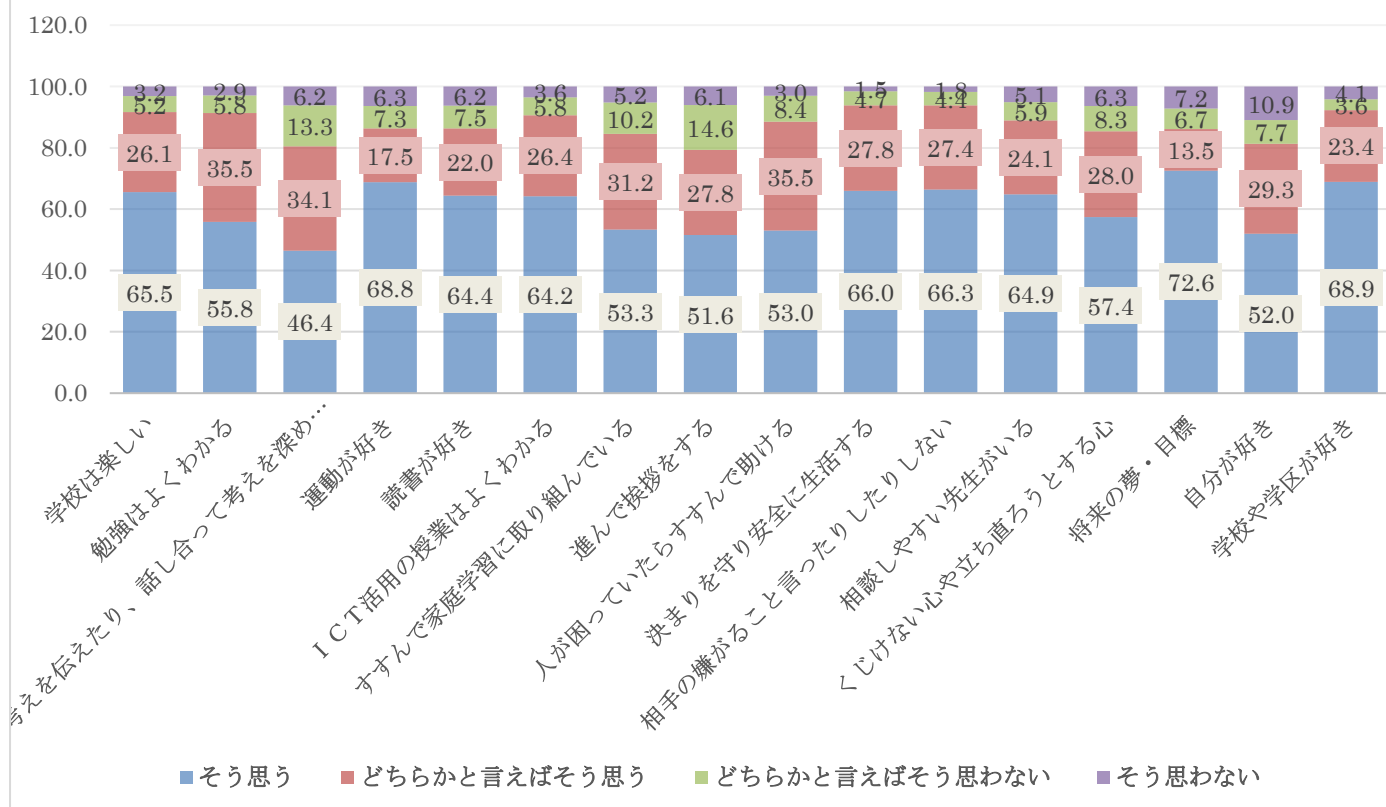
36日間の夏休みが終わり、今日から2学期が始まりました。夏休み中においては、お子さんの見守りのご指導、ありがとうございました。

2学期は1年の折り返しを迎え、子どもたちが一段と成長する時期です。学校では、子どもたちの成長を後押しできるように教育活動を進めますが、ご家庭におかれましても、お子さんへの元気になる声かけや本校教育へのご理解をよろしくお願いいたします。

さて、7月中頃に下記のような子どもアンケートを行いました。取りまとめをした結果をご報告いたします。この結果を踏まえながら、2学期の学級経営や学校運営を改善していきます。

※数字は%を表しています

1 学期 児童の自己評価について (全校)



全校児童の肯定的な回答について ※数字は%を表しています

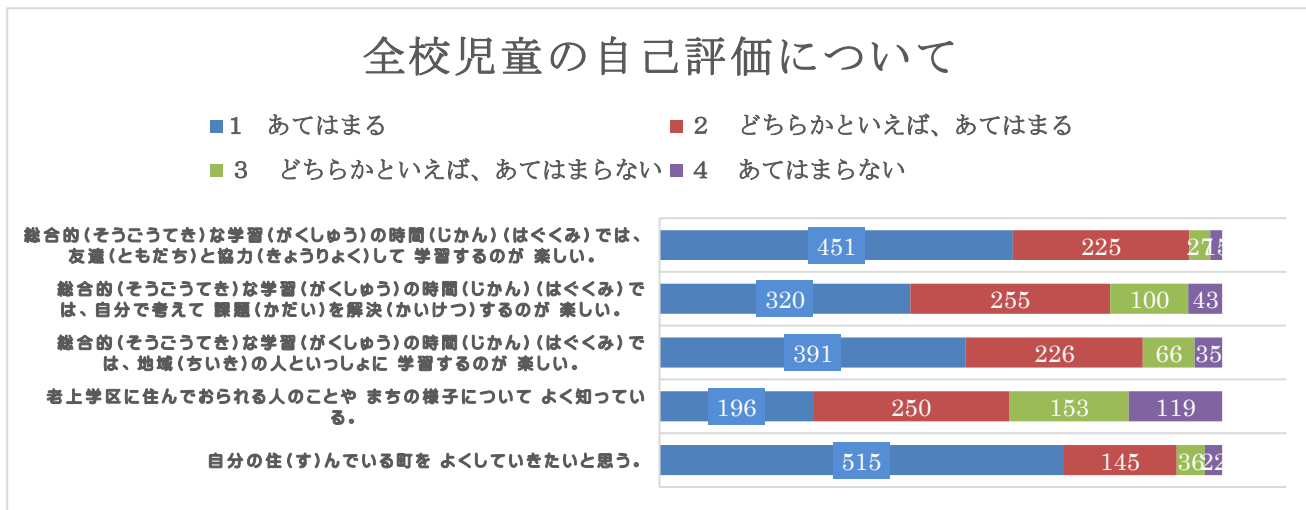
	学校はた のしい	勉強はよ くわか る	話し合っ て考えを 伝える	運動が好 き	読書が好 き	ICT活 用	進んで家 庭学習	進んで挨拶	困って いたら 助ける	決まりを 守る	嫌がるこ とをしな い	相談しや すい先生 がいる	折れな い・立 ち直 る	将来の 夢・目 標	自分が好 き	学校・学 区が好き
今年度	91.6	91.3	80.5	86.3	86.3	90.6	84.5	79.4	88.5	93.8	93.8	89.0	85.4	86.1	81.3	92.3
昨年度比	+0.9	-2.0	-0.4	+1.7	+8.5	+0.2	+3.2	+0.3	+5.6	-0.8	-0.2	+0.6	-3.4	+0.6	+1.0	+0.3

表の結果からわかるように「そう思う」や「どちらかといえばそう思う」の肯定的回答については、16項目中6項目で90%を超えました。しかし、「進んで挨拶をしている」については、80%を下回る結果となりました。この項目については、昨年度においても同じような結果が見られます。

また、昨年度の同時期の調査と比べてみると、16項目中11項目で向上しています。（※ただし昨年度の6年生は卒業し、新たな1年生が入学しているので調査対象は同じではありません）

R4年度の1学期は、子どもたちの意識として、まずまずの好スタートが切れたようですが、「勉強がよくわかる」と「くじけない心や立ち直ろうとする気持ちをもって生活できている」の数値が若干減少していることをしっかりと受け止め、指導のあり方を見直していきたいと考えています。

スクールESDに関わる子どもアンケート結果より ※数字は人数を表しています



本校は、『スクールESDくさつプロジェクト』のモデル校として草津市教育委員会より指定を受け、地域課題解決型の学習を進めていることは、これまでよりお伝えしているところですが、そのことに特化して子どもたちの意識を調査した結果が上記のグラフとなります。「地域の方といっしょに学習するのが楽しい」と回答した児童が86%、「自分の住んでいる町をよくしていきたい」と回答した児童は92%にのぼり、老上学区のまちや人に対して関心を持っていることがわかりました。しかし、「老上学区に住んでおられる人のことやまちの様子についてよく知っている」かの質問については、62%どまりであることから、さらに地域を知ること、地域から学ぶことを学校教育の中で進める必要があると感じました。

草津市人権・同和教育研究大会にてPTA同推の役員さんが取組を発表されました！

8/6(土)、老上西小学校で行われた上記大会の分科会にて、本校PTA同和教育推進部の役員さんが、昨年度の実践を発表されました。

昨年度、同推部の皆さんは多様性の理解について研修を深める中で、中山千夏さんの絵本「へんなの」を使った読み聞かせ動画を作成されました。そして、その動画と担当教員が作成した『おいかみくんとけろちゃん劇場～「それってほんとにあそび？」のまき～」の動画をホームページ上に載せ、ご家庭でお子さんと一緒に人権について話し合う機会をつくるなど、親子共学びを考えた取り組みを行っていただきました。



分科会の参加者からは、日常的に人権が感じられる取組がよかったという意見や、自校でも同じように人権トークの冊子を作って配布しているが、親子でともに考えてほしいと思っているなどといった意見が出ました。

また、研究協力者(老上中学校竹田校長)からは「同じ中学校区なので、このような取組をしてもらってありがたい。」「子どもの前では悪口を言わないでほしい。」「正しい知識を伝えてほしい。」といった話がありました。

昨年度の同推部の役員さん、素晴らしい取組をありがとうございました。また、今年度の同推部の役員さん、研究大会での発表お疲れさまでした。今年度の人権・同和教育の推進も引き続きよろしく願います。